

赤磐地域最古級の横穴式石室

やつづか

八塚古墳群 赤磐市山口

当センターでは、平成19年9月から八塚1号墳・3号墳の発掘調査を行いました。両古墳ともに埋葬施設、遺物等がよく残っており、赤磐地域の歴史を考えるうえで貴重な成果となりました。

1号墳・3号墳ともに石室から土器や鉄器が多数出土しています。特に3号墳からは長さ1mの鉄刀や馬具一式が出土しており、被葬者の性格をうかがうことができます。また両古墳ともに墳丘に石が数多く使われていました。1号墳では墳丘を一周するように石垣状に石が積み上げられており、3号墳では石列が二重にめぐらされていました。1号墳と3号墳の内側の石列は盛土によって隠されており、墳丘を飾る目的ではなかったようです。3号墳の外側の石列は墳丘を明確にする意図があったのかもしれませんが。出土した遺物の特徴から考えると、3号墳が6世紀中頃、1号墳が6世紀末にかけて築造されたと思われます。6世紀中頃は横穴式石室が導入された初期の段階にあたり、3号墳は現在わかっている限りでは赤磐地域で最も古い横穴式石室であることが判明しました。なお、調査終了後、2基の石室は近隣に移築復元しました。（三浦孝章）



左:1号墳、右:3号墳（南西から）

甦る!古代吉備の国～謎の鬼ノ城

史跡鬼城山城内確認調査 ー平成19年度の調査成果ー



岡山県古代吉備文化財センターでは、平成18年度から『甦る!古代吉備の国～謎の鬼ノ城』調査事業を行っています。今年度は城内の中心部で、以前から礎石建物がみついている場所の周辺を7月～12月にかけて発掘調査を実施し、2棟の礎石建物と1棟の掘立柱建物の様子を明らかにすることができました。今回の調査で明らかになった礎石建物はいずれも今から約1,300年ほど前の飛鳥時代のものです。1棟は全長17.6mにおよぶ大形で長大な側柱の建物で、城内の管理棟のような役割をもっていたと考えられます。



大形の礎石建物（東から）



礎石を据えた穴（北から）



礎石に残った柱の痕跡（南東から）



瓦塔の出土状況（北から）

もう1棟は建物内側の床下にも柱がたくさんある総柱の礎石建物で高床倉庫であったと考えられます。いずれの礎石も据え付ける際に大きな穴を掘って、しっかりと固定していました。礎石の中には柱の痕跡が残るものもあり直径40cmあまりの円い柱が礎石の上に建っていたことも分かりました。



総柱の礎石建物（南西から）



平安時代の基壇をもつ掘立柱建物（北東から）

まわりを石で囲んだ基壇（建物の土台となる高まり）をもつ平安時代の掘立柱建物や瓦塔（焼き物の仏塔）の破片も確認され、鬼ノ城が城として使われなくなった後には、仏教に関連する施設として利用されていることがわかりました。



基壇のまわりを囲む列石（東から）

城内調査大公開 I・II



大形建物の礎石（大公開 I）



高床倉庫の礎石（大公開 II）



出土した土器の見学（大公開 II）

鬼ノ城うおーく



西門



第4水門付近の石垣

鬼ノ城イベント(下半期)		
イベント名	開催日	参加者
謎の鬼ノ城城内調査大公開 I	9月10日(月)～16日(日)	760名
謎の鬼ノ城城内調査大公開 II	12月3日(月)～14日(金)	481名
鬼ノ城うおーく	10月27日(土)	39名
鬼ノ城植樹	3月15日(土)	31名

9月と12月には、「城内調査大公開」として発掘調査現場を公開し、多くの方々に見学していただきました。10月には、「鬼ノ城うおーく」を開催し、鬼ノ城をまわりながら豊かな自然や古代のロマンに触れていただきました。（石田爲成）

岡山後楽園の園内を流れる水は園の南東端に位置する花交の池にたどりつき、池の南端の樋を通じて旭川へ排水されます。近年、この樋が機能しなくなり、全面的な改築が計画されることとなったため、平成17・18年度に確認調査を実施したところ、後楽園築庭後まもない時期（約300年前）の木樋管がかなり良好な状態で残されていることが確認されました。このため、史跡等保存整備事業に伴う発掘調査として、木樋管全体を掘り出し、当時の木工技術や樋の設置にかかわる土木技術等を調査することとしました。木樋管は調査後に取り上げて保存されることになっています。木樋管は全長18mで、幅52cm、高さ55cmを測ります。板材を箱形に組み、各板材は鏝でしっかりと固定され、さらに粘土で厚く巻かれていました。（岡本寛久）



木樋管被覆粘土（北東から）



木樋管全景（北から）

一般県道吉備津松島線道路改築に伴う発掘調査です。今年度の調査地点は、過去に調査された弥生時代から中世にわたる大集落の西端にあたります。調査の結果、弥生時代から近世の溝が見つかりました。

平安時代では、土器を多く含んだ包含層とその下層に溝を検出しています。包含層からは地元の土師器・須恵器や京都産などの緑釉陶器（緑色に発色する釉薬をかけた陶器）が出土しています。中でも今回注目すべき遺物として、県内では出土した例の少ない、中国から輸入された越州窯系青磁碗が出土しました。溝内からは土馬も見つかりました。

室町時代前半の溝群は調査区の西で検出しました。水田の用排水路と考えられます。溝内には護岸のための杭列もあり、その杭は最も長いもので1.5mもの長さを測ります。杭の中には塔婆（墓に立てる五輪塔を模した木の板）を転用したものもありました。（氏平昭則）



平安時代の溝（西から）



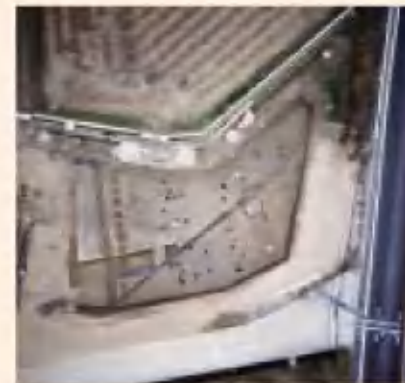
溝から出土した土馬



越州窯系青磁碗

延寿寺跡は、現存する「足守庄絵図」（1169年作成：重要文化財）から、平安時代後期に存在したと考えられています。調査では平安～鎌倉時代の掘立柱建物や溝が見つかり、寺院に係る遺構が含まれている可能性が考えられます。また弥生時代の河道もみつき、縄文時代晩期～弥生時代前期の土器やサヌカイト製の石器などが出土しています。

倉ヶ市遺跡では、鎌倉～室町時代の掘立柱建物や柱穴の他に、現在の土地区画と同じ方向に掘られた溝が見つかりました。土師器・亀山焼・中国製の陶磁器などが出土しており、当時の生活の一端を知ることができます。下土田遺跡では、鎌倉～室町時代の土壇や柱穴が見つかり、多くの遺物が出土しています。（河合 忍・笹栗 拓）



延寿寺跡全景（上が北）



溝と平行する柱穴列
（延寿寺跡、南東から）



大量の遺物が出土した鎌倉時代の溝
（倉ヶ市遺跡、北東から）

都市計画道路大谷一宮線街路改築に伴う美作国府跡の発掘調査では、奈良～鎌倉時代の建物や井戸、溝が見つかりました。谷部にあたる調査区では、平安時代の遺構面から約1m掘り下げると、弥生時代の前～後期の溝や柱穴列が確認されました。このうち、水際に沿って杭が打たれている溝があり、当時の人々が水の流れを調節しようとした跡と思われる。こうしたことから、この周辺に長い期間にわたって営まれた集落の存在をうかがうことができます。（澤山孝之）



平安時代の井戸の木組（南西から）



弥生時代前～後期の溝（北西から）



奈良時代の建物（北から）

センターの活動から

考古学体験・野外講座



石器をうまく作れるかな？
(第2回体験講座)



古墳の上に登る！
(第2回野外講座)

考古学体験講座・野外講座(下半期)		
イベント名	開催日	参加者
第2回考古学体験講座 『石器を作ろう!!』	10月20日(土)	33名
第2回考古学野外講座 『笠岡の古墳を歩こう』	1月19日(土)	66名
第3回考古学体験講座 『縄文クッキーを作ろう!』	3月8日(土)	43名



大地からの便り2007 Part2—真庭の古墳と古代寺院—

報告会(下半期)	
開催日および会場：11月23日(金) 久世エスパホール	
○報告遺跡	参加者
①大谷・定古墳群(真庭市旧北房町) 真庭市教育委員会	100名
②水別古墳(真庭市旧八束村) 当センター	
③中原古墳群(真庭市旧久世町) 当センター	
④五反魔寺(真庭市旧久世町) 真庭市教育委員会	
⑤英賀魔寺(真庭市旧北房町) 当センター	

展示会(下半期)		
会場名	開催日	参加者
第1会場 下湯原温泉ひまわり館	11月9日(金)～14日(水)	390名
第2会場 真庭市役所北房支局	11月16日(金)～21日(水)	53名
第3会場 勝山郷土資料館	11月23日(金)～12月3日(月)	385名
計		828名

○展示品 旧落合町下市瀬(しもいちせ)遺跡出土小銅鐙、旧北房町大谷(おおや)1号墳出土双龍環頭大刀、定東塚(さだひがしづか)古墳出土金製装飾品、旧久世町五反(ごたん)魔寺出土蓮華文軒丸瓦など

津島遺跡！やよい体験



火起こしに挑戦！



勾玉作りに挑戦！

名称	開催日	参加者
津島遺跡!やよい体験	11月2日(金)～6日(火)	6,600名



現地説明会・発掘調査報告会

現地説明会(下半期)		
遺跡名	開催日	参加者
美作国府跡ほか	9月22日(土)	150名
八塚古墳群	11月24日(土)	222名
延寿寺跡ほか	1月26日(土)	280名
特別名勝岡山後楽園	2月15日(金)～17日(日)	1,000名

発掘調査報告会		
名称	開催日	参加者
高島のむかし2007	10月22日(月)～26日(金) 〔展示会〕 ・11月9日(金)	350名



八塚古墳群現地説明会



岡山後楽園現地説明会

見学・職場体験学習

学校種	目的	学校数	見学生徒数
小学校	見学	11校	678名
中学校	職場体験	9校	27名
	総合学習	1校	240名
計		10校	267名
高校	進路学習・見学等	3校	23名
大学	インターンシップ	2校	3名
盲聾学校	出前授業	2校	58名



職場体験(岡山市立石井中学校)



見学(岡山市立馬屋下小学校)

埋蔵文化財担当職員研修会

本年度の研修会は、岡山理科大学自然科学研究所講師の白石純先生と大阪府高槻市教育委員会文化財課課長の森田克行先生を講師にお招きし、2月8日(金)に岡山県生涯学習センターで行いました。

白石先生には、『胎土分析でなにがわかるのか。—弥生から近世までの分析事例から—』、森田先生には、『今城塚古墳と岡鶏山古墳の調査と整備』のテーマでご講演頂きました。

県および市町村の埋蔵文化財担当者60名の参加を数え、充実した研修会となりました。(弘田和司)



白石先生の講演



森田先生の講演

センター収蔵品紹介 vol.5 — 銀象嵌で飾られた刀 —



平岩古墳の柄頭
(高さ4cm)

銀象嵌とは、鉄製品の表面に溝を彫り、細い銀線をはめ込んで文様をつくる工芸技法です。古墳時代にはこの技法で飾られた剣や刀が見られ、6世紀後半頃に最も流行します。流行するといっても、有力者しか入手できなかったものらしく、岡山県下では9点しか発見されていません。

長年の間に錆でおおわれ、発掘時には銀象嵌文様の存在が分からないことが多いのですが、クリーニングをしていくうちに、白く輝く模様が浮かび上がってきます。

センターの収蔵品では、西山2号墳(岡山市栢谷)、平瀬2号墳(岡山市平瀬)、平岩古墳(赤磐市石)、道上古墳(新見市哲西町上神代)からの出土品4点があります。刀の鐔や柄頭(手で握る部分の端に付ける装具)などに、銀象嵌でハート形や鱗形、渦巻き文様などが施されています。曲線を多用した独特な文様で、当時の人々の精神世界を垣間見るようです。(尾上元規)



道上古墳の大刀(長さ91.5cm、重さ765g)

平成19年度各課事業一覧

〈試掘調査・確認調査・発掘調査〉

課	遺跡名 (所在地)	調査原因	種別	遺跡の内容・成果	調査期間 調査面積
調査第一課	伊福定国前遺跡 (岡山市伊福町)	国立病院伊福公務員宿舎建設	試掘	4か所にトレンチ。弥生時代後期～中世の柱穴、土塼、溝あるいは住居と考えられる人形遺構を検出。調査地全体で微高地を確認。	4.16～4.24 24㎡
	上東中嶋遺跡 (倉敷市日畑ほか)	一般県道吉備津松島線道路改築	試掘	9か所にトレンチ。弥生時代～室町時代の柱穴、土塼と包含層を検出。調査地の南西側に微高地を確認。	4.23～5.15・ 11.12～11.15 36㎡
	八塚古墳群 (赤磐市山口)	ため池等整備事業(八塚上池地区)	試掘	古墳かと思われた石列を調査。調査の結果、石列は新しく、古墳ではないことを確認。	9.25 0.5㎡
	※遺跡名なし (和気郡和気町宇生)	主要地方道岡山吉井線(美作岡山道路)道路改築	試掘	古墳かと思われた石列を調査。調査の結果、自然の露岩であることを確認。	10.1～10.5 5㎡
	田益田中遺跡 (岡山市山益)	国立看護学校学生寮建設	確認	1か所にトレンチ。北東から南西へ流れる弥生時代中期の溝2条を検出。田益田中遺跡の一部にあたることを確認。	5.7～5.11 75㎡
	史跡鬼城山 (総社市奥坂)	城内の確認・整備・活用	確認	飛鳥時代の大型の側柱礎石建物1棟と総柱礎石建物1棟、平安時代の掘立柱建物1棟を検出。須恵器・土師器・瓦塔等が出土。	7.1～12.31 1,050㎡
	高松城水攻め鳴谷川遺跡 (岡山市長野)	一般県道長野高松線単県道路改築	確認	長野浄水場内に1か所のトレンチ。水攻めの時の遺構は、確認できなかった。造成時の削平ないしは調査地外に存在する可能性。	9.19 14㎡
	特別名勝岡山後楽園 (岡山市後楽園)	特別名勝岡山後楽園史跡等保存整備事業	確認	花交の池樋門呑み口の両側へ2か所のトレンチ。現在の池護岸石垣の内側において、古い段階の石垣を確認。	9.25～10.4 6㎡
	姥ヶ道遺跡 (津山市市場)	一般県道三浦勝北線道路改築	確認	丘陵上から斜面にかけて7か所にトレンチ。全体に遺物包含層を確認し、丘陵上で古墳時代の柱穴、溝、竪穴住居を検出。	12.17～1.11 31㎡
	岡山城二の丸跡 (岡山市内山下)	県庁舎耐震・UD化等整備事業に伴う仮設庁舎建設	確認	4か所にトレンチ。二の丸跡南西部に相当し、内堀とその石垣、武者走、石垣、居敷地の整地層を確認。	1.29～2.22 93㎡
	南清手遺跡 (総社市南清手)	一般県道服部停車場線道路改築	確認	6か所にトレンチ。微高地上で古墳時代～中世の柱穴、溝を検出したほか、一部で中世を中心とする時期の包含層を確認。	1.28～2.19 42㎡
	中撫川遺跡 (岡山市中撫川)	一般県道吉備津松島線道路改築	全面	弥生後期～室町時代の溝群を検出。平安時代の包含層から越州窯系古磁碗や緑釉陶器が出土。	4.1～11.30 2,542㎡
特別名勝岡山後楽園 (岡山市後楽園)	特別名勝岡山後楽園史跡等保存整備事業	全面	後楽園築庭後間もなく(約300年前)の木製排水樋管を発掘。全長18m、幅52cm、高さ55cm。	12.17～2.29 214㎡	
調査第二課	中島城跡ほか (岡山市中島ほか)	都市計画道路竹山山線線路改築	全面	中島城跡では、鎌倉時代の庇付建物・墓などを検出。中川遺跡では、古代の建物と銅製の丸軻、中世の建物、井戸などを検出。	4.1～2.29 3,250㎡
	南清手遺跡 (総社市南清手)	一般国道180号総社一宮バイパス建設	全面	古代の河道から相寺庵寺と同型式の瓦などを検出。弥生時代の微高地端部で土器の堆積を検出。	4.1～5.31 377㎡
	八塚古墳群 (赤磐市山口)	主要地方道御津佐伯線緊急地方道路整備事業	全面	直径10～11mの横穴式石室墳2基の調査。その内1基は、県下でも最古級で墳端および墳丘内に列石を巡らす。	9.1～12.31 450㎡
調査第三課	小塚の谷古墳ほか (和気郡和気町宇生)	主要地方道岡山吉井線(美作岡山道路)道路改築	全面	小塚の谷古墳は直径10mの円墳、横穴式石室。7世紀前半の須恵器・土師器・鉄滓が出土。二本木遺跡は弥生時代後期の竪穴住居を検出。	4.1～9.30 2,730㎡
	姉本路古墳群 (赤磐市弥上)	主要地方道佐伯長船線(美作岡山道路)道路改築	全面	2号墳は横穴式石室、3・4号墳は竪穴式石室。3・4号墳は未盗掘で、須恵器・鉄器が出土。時期はいずれも6世紀後半。	4.1～9.30 850㎡
	美作国府跡ほか (津山市山北ほか)	都市計画道路大谷一宮線線路改築	全面	古代の掘立柱建物、井戸、土塼、溝を検出。「苦」刻印須恵器・硯・瓦が出土した。弥生時代中期～後期の竪穴住居、土塼、溝も検出。	4.1～3.31 4,980㎡
	延寿寺跡ほか (岡山市上土山ほか)	一般県道総社足守線公共特定交通安全施設等整備事業	全面	平安時代～鎌倉時代の掘立柱建物、土塼、溝を検出。瓦・土師器・瓦山焼などが出土。弥生時代前期の河道から土器・石器が出土。	10.1～3.31 7,610㎡

〈報告書作成・刊行〉

課	作成(遺跡名)	刊行報告書(遺跡名)
調査第一課	鬼城山、中撫川遺跡、後楽園	
調査第二課	中町B遺跡ほか、窪木遺跡ほか、百間川今谷遺跡、八塚古墳群、中島城跡ほか	県報告213(中町B遺跡・八幡山遺跡・八幡山南遺跡・八幡山門明寺跡・尾崎遺跡・穴が谷遺跡・穴が谷遺跡・今岡D遺跡・今岡中山遺跡・今岡古墳群・高岡遺跡)、県報告214(窪木遺跡・南清手遺跡)、県報告215(百間川原尾島遺跡7・百間川二の丸手遺跡)、県報告216(大河内遺跡・稲穂遺跡・下坂遺跡)
調査第三課	鍛冶屋D遺跡	

〈その他〉

課	内容
調査第一課	出土品等の展示・貸出、ホームページ作成、メールマガジン配信、考古学野外講座、考古学体験講座、大地からの便り・同Part2、「所報吉備」刊行、鬼ノ城城内調査大公開・夏休み少年少女鬼ノ城教室、津島遺跡!やよい体験、後楽園現地説明会、山町村指導、その他普及啓発事業並びに広報業務、収蔵管理など
調査第二課	中島城跡ほか現地説明会、八塚古墳群現地説明会、発掘調査報告会「高島のむかし2007」、パンフレット「発掘/高島のむかしⅣ」、「八塚古墳群」刊行
調査第三課	姉本路古墳群現地説明会(6月・8月)、小塚の谷古墳ほか現地説明会、美作国府跡ほか現地説明会、延寿寺跡ほか現地説明会、パンフレット「発掘美作国府跡」刊行



編集・発行

岡山県古代吉備文化財センター

所在地 〒701-0136 岡山市西花尻1325-3

TEL (086) 293-3211 FAX (086) 293-0142

http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kodai/kodaik.htm

- 交通案内
 - ・JR山陽本線庭瀬駅下車徒歩40分
 - ・JR吉備線吉備津駅下車徒歩25分

●業務時間 AM8:30～PM5:15

●休業日 土・日曜日及び祝日、年末・年始

●展示室の開館 AM9:00～PM5:00

年末・年始を除き、土・日・祝日も開館しています。ただし、臨時に休館することがあります。

なくしていこう、差別・偏見・いじめ